

京城日報

刊夕日四十
本報發行所 東京市丸の内區
電話 三三三三
代印所 東京市丸の内區
電話 三三三三

首相以下授爵

十四日午前十一時中野區に於て左の通り爵位授式を行はせられた(東京特電)

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
大隈 重信
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
長谷川 好道
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
石井 菊次郎
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相

勳功に依り特に伯爵を授けらるる
加藤 高
前首相 前首相 前首相



陸地棉稼想高
近年農家は陸地棉稼の増進を期して、種々の努力を盡して、去年は、陸地棉稼、一萬五千八百七十七石、前年比、一萬一千七百七十七石、増加した。これは、陸地棉稼の増進に、種々の努力が、功を奏した、と、見做される。...

飛行家山東行
民間飛行家、山東行、は、十四日、青島、から、濟南、へ、飛行した。...

女子師範團北行
女子師範團、北行、は、十四日、東京、から、青島、へ、飛行した。...

駐支軍慰問使
駐支軍慰問使、は、十四日、東京、から、青島、へ、飛行した。...

松花江航行権と兩省
松花江航行権、は、十四日、東京、から、青島、へ、飛行した。...

陸地棉稼想高
近年農家は陸地棉稼の増進を期して、種々の努力を盡して、去年は、陸地棉稼、一萬五千八百七十七石、前年比、一萬一千七百七十七石、増加した。...

飛行家山東行
民間飛行家、山東行、は、十四日、青島、から、濟南、へ、飛行した。...

女子師範團北行
女子師範團、北行、は、十四日、東京、から、青島、へ、飛行した。...

駐支軍慰問使
駐支軍慰問使、は、十四日、東京、から、青島、へ、飛行した。...

松花江航行権と兩省
松花江航行権、は、十四日、東京、から、青島、へ、飛行した。...

陸地棉稼想高
近年農家は陸地棉稼の増進を期して、種々の努力を盡して、去年は、陸地棉稼、一萬五千八百七十七石、前年比、一萬一千七百七十七石、増加した。...

陸地棉稼想高
近年農家は陸地棉稼の増進を期して、種々の努力を盡して、去年は、陸地棉稼、一萬五千八百七十七石、前年比、一萬一千七百七十七石、増加した。...

飛行家山東行
民間飛行家、山東行、は、十四日、青島、から、濟南、へ、飛行した。...

女子師範團北行
女子師範團、北行、は、十四日、東京、から、青島、へ、飛行した。...

駐支軍慰問使
駐支軍慰問使、は、十四日、東京、から、青島、へ、飛行した。...

松花江航行権と兩省
松花江航行権、は、十四日、東京、から、青島、へ、飛行した。...

陸地棉稼想高
近年農家は陸地棉稼の増進を期して、種々の努力を盡して、去年は、陸地棉稼、一萬五千八百七十七石、前年比、一萬一千七百七十七石、増加した。...

飛行家山東行
民間飛行家、山東行、は、十四日、青島、から、濟南、へ、飛行した。...

女子師範團北行
女子師範團、北行、は、十四日、東京、から、青島、へ、飛行した。...

駐支軍慰問使
駐支軍慰問使、は、十四日、東京、から、青島、へ、飛行した。...

松花江航行権と兩省
松花江航行権、は、十四日、東京、から、青島、へ、飛行した。...

陸地棉稼想高
近年農家は陸地棉稼の増進を期して、種々の努力を盡して、去年は、陸地棉稼、一萬五千八百七十七石、前年比、一萬一千七百七十七石、増加した。...

皇后陛下より義眼の御下賜

航空隊の夜間飛行

單獨飛行の成功——各將校の腕較べ

十一日午後七時四十分より、遊藝場へ飛来。飛行場にては三日間の夜間飛行の第一日を行つた。夜は静寂に宿務俣に吹けるものと殆ど差支の如く折々吹く。十二日の月には中夜に曇り、又波詠かに夜間飛行には絶好の夜なり。先づ七時四十分全五少佐は操縦士官を士官休戦場に集め飛行の注意をなしてより、一階始の命令をなし先づ三號機に別府、山口の兩中尉同乗し七時四十四分第一第二艦隊の上空を縦二百米突の高度を以て飛翔し、操縦士官に告げて八時十五分歸き更に留留、室井中尉は八時十五分より同二十四分まで後藤、大西の兩中尉は八時三十分より同三十八分まで二號機には永祿、岡田中尉同乗し七時四十五分より同五十五分迄一號には坂本、後藤兩中尉同乗し二十七分より同三十九分まで海荒本、兩中尉八時四十六分より同五十分まで山本大尉、栗野中尉は九時より同五十六分、坂井、大西兩中尉は八分後藤兩飛行をなし然れども結果を得ず。第二日十二日は坂本、永祿、栗野の全飛行機校飛行を行ひたり（果集）

問題は農旗一一箇所の大衝突

鹿北地方には各洞に鹿旗なるものあり其の洞毎に依つて郷評を定めおる山なりが本月三日開度郡菅川面上の新里民と新井村との間に菅旗族の事より紛争を惹起したるも同日は無事に解散したるが翌々五日に至り新井里民は松原平野里の應援を得て復讐の爲め各手に農具棍棒等を握へ大舉して上新里を強襲したる爲め遂に雖なくも三里民総討二百五十名入り亂れての大格闘とな

其結果五十五名の負傷者を出したるこの急戦に接し菅川巡査駐在府上の警官等皆々幸くも統製毛書着十名を致し目下取調中なり尙七日後四時許菅川面松原里に於て仙遊民は松原里民と之も鹿旗の事より突し仙遊里民七十名は松原里に強入し屋内に侵入し家具を奪ひ破壊し亂暴狼藉を働き經時間の後引揚げたりと

二十日検査の結果、左の
 負傷はギブス取換へ後

に痛み無く経過良好にして松島林にて自由の室内を歩行し居れり。秦王治は尙二週間の入院を希望するも本國より両親の切なる電報により歸國を許し止まず秦王治は松作を伴ひ之を歸可せし。十四日午後九時半の急行列車にて出發し二十日横濱解纜のエンブレソフ、ハンヤ、等に於て秦港を経て郷里に歸り餘寮し事情許さば今秋は米國にて飛行し來る。早々日本に於て飛行する希望など（札幌）

遼中風波の爲め慶興與齊西師西水洞の東方の海境に侵揚し留るをせしめたること發覺。何れも慶興與檢事分局に送られたり

日露協約祝賀

十二月夜釜山鳳凰閣にて釜山官民の催にて係日露協約祝賀會は十二日午後六時同地鳳凰閣にて開催されたり席定まるや大連商會館所會館の開會の辭あり若松府

慶興郡芦西面西水羅居住

●**阿片中毒患者收容**
昨（廿二）日午後五時、警察署に、
合議員をして之が格好に従事せしめ
つゝありしが、該患者は殆んど無氣力
なり、之を以て、警察署に運ばれし。

内鮮人籍紳百餘名來接

福田等控訴す

●櫻井事件の被告福田下村の兩名は、最初より死刑を認悟し居たる程なれど第一審にて服罪する筈なりしも辯護人により切に勧告されて十一日控訴したるが如きは例年より稍遅なる事となるべし(東京)

京坂戸御堂走査に十三日午後二時より興化内藤鶴亭に於て開かれ、開會前より李元伯氏を始め趙貴旗及び内鮮人組織員徐名乘増あつた。趙貴旗氏は發起人陳を代表し同會の趣旨及び今後の方針等に付一事の挨拶あり李元伯及び柴崎中學校長阿部本社社長幸諸氏は各々所感を述べたる後並重

コレで好いかな、寫つたら一枚

A black and white photograph of a person, likely a woman, sitting in a traditional Japanese room. She is wearing a dark kimono and is positioned in front of a large window with a grid pattern. The image is framed by a thick black border.

A black and white portrait of a man, likely a member of the Communist Party, sitting and holding a book or document. The man has dark hair and is wearing a light-colored, possibly patterned, shirt. He is seated in a chair, and the background is dark and textured. The image is framed by a thick black border.

が女房を伴で来たなんて新聞へ

出羽の海

天眞樓の涼しい部屋で
お乃夫夫人と並んで語る

「高橋山の大勢切つてかゝるに、偉大な加へ（扇屋）を加ふたは、総發出羽の海に居たい。お乃夫さん夫婦は、作つて三日午後南大馬路、若者大連に投擲した」

興の涼しい部屋を二つ取つてお乃夫さん夫人は次の部屋で手紙が何か認めて居る様子「好きな相撲を取つて好きな徳古を爲て居るのが一番氣樂な事だ」と云ふ

昔ちや不可んよ、情婦が出来ないからア」と腹の中から押出す様に笑て「此れまで何處へも一緒に歩いた事は無い。先づ此間釜淵へ行く時に大阪まで仲れて行つたきりだ、イヤでも女の旅行は大變なかもので、水盂でも仕て來やうつてんだから手数がかかる、常人だつて却々出て來る處がないが」

▽平壤と大連に姉妹が居るのでそれに會ふのを楽しみに爲て居

別れる考へである一話す其内に

多^た數^{すう}の弟^{てい}子^し共^{ども}が居^ゐるのだ
 から矢^や知^しり乃^の公^{こう}がやらなくては取^と締^ぢ
 りが付き惡^{わる}いから仕^し方^{ほう}がない」と漏^も
 れた。
 政^{せい}敵^{てき}黨^{とう}は收容^{しやうい}せられし當時^{たうじ}に比^ひし
 健康^{けんかう}狀^{じやう}頗^さ復^{ふく}を見^み何^{なん}れも難^{がた}有^あり
 續^{つづ}き同^{どう}人^{じん}等^らの行^{ぎやう}動^{どう}を監^{かん}視^し中^{ちゆう}なりと
 めつゝあり而^{しか}して同^{どう}厚^{こう}には其^{その}後^ご引^ひ朝^あ工^{こう}事^じ

東京 著 割

少卿一食。居より。新嘉坡。所。在。陳。亨。謙。山。事。務。員。熊。本。片。町。生。れ。の。和。田。德。次。郎。〔五〕は。六。後。一。時。頃。瀧。菜。用。火。藥。約。三。十。火。し。之。れ。を。精。納。せ。ん。と。し。た。る。際。火。に。自。然。熱。に。て。爆。發。し。た。手。の。掌。に。し。翌。七。日。大。郎。慈。惠。醫。院。に。入。院。日。松。川。繁。及。び。附。近。の。消防。隊。付。け。て。消防。ひ。

東洋

るに右装束は翌十二日各宛
著したれば中を改め見たるに千
圓はありたるも他の一坪は新聞
みにて中の千五百圓の行方不明
り目下犯人嚴探中の由

漢江は過
漢江増水十五尺
昨降以來増水し十四日午訖九時
時より十五尺の増水を示し居り

東京製紙焼く十一日午前
府下南葛飾郡大島町株式會

●大相撲と元山 東京大相撲
一行は仁川抵抵後晩船に乗る二十二
日元山乘込みの客なるが元山に於
ける興行の場所は元山毎日新聞社前
廣場に決定し居れり

●酔うて答二十五 仁川栗木里百三
十二番地旁樹成盛(ていせい)といふ少年
は十三日午後六時頃栗木里に花町
二丁目道路の上で喧嘩を興し居たを
以て巡邏の巡査に引張られ仁川署に
て答二十五の處分を受けたり

大相撲と元山 東京大相撲
一行は仁川抵抵後晩船に乗る二十二
日元山乘込みの客なるが元山に於
ける興行の場所は元山毎日新聞社前
廣場に決定し居れり

●酔うて答二十五 仁川栗木里百三
十二番地旁樹成盛(ていせい)といふ少年
は十三日午後六時頃栗木里に花町
二丁目道路の上で喧嘩を興し居たを
以て巡邏の巡査に引張られ仁川署に
て答二十五の處分を受けたり

ろの

忽ち満員
國隊見物多し
選二日目の十四日は朝から降つて
歡むだ梅大鼓の音も濕り勝て
たが七時過ぎから陰鬱な雲の断
に景色の空が見えだしたので、
の観客はその前から
木戸口へ詰め かけて雨に
ながら中を立去らうとせす「雨が
歌んだか明ける」と承知せず
「雨」騒ぎ立てる婦人に勸進せ
も開場へ決し俄かに力士その他に急
報して召集する事になつた實に素暗
らしい悲氣である
いよいよ開場と聞いた觀
客はアツと門を佯つて警門へ入る場
内は俄かに活氣づいた、俵茶屋女が
蒲團火鉢を持つて天手古舞の騒ぎに
後

モウそれは著物なでも拵

しい處が多そうで……先刻も
陸奥から電話が掛つて参りまし
午後から
何處かへ見物に出掛けな
つて申しますの、あの人はもう
は大變に外出好きですからね
またやに笑つて……東京に
ましては女は一切相撲の事には
せん、その事になつて参ります又勉め
係しないやうにして居るので
います、ですから本據所の折な
へたばかりのだと思ふのにもう疲
して終つただの、それからいろいろ
尻を揉むのでございしますがそれ
も皆な無邪氣で順來でございすか
ら、可愛いんでございすよ……取
締役なんぞは東京に居るよりも旅行
して居る方が大變氣樂でいゝと申し
て居りますが、女は矢張り何處へ参
つても氣が樂になる時はありません
子供は四つに成るのと

から、その方は心配はありま

まして一切奥の方へは退入つて
 い規則でありますからいゝ／＼
 は何時も取組役の不在の折には
 持ち込んで来るのですよ

せんが、それでも傍に居ませんと
 ヒヨツと風邪でも言ひはしないかと
 思ひまして……ご機嫌いゝお母ア様ら
 しい服を穿かした……

斯克斯電氣會社の釜山鎮電氣鐵路
 釜檢校生舎新築工事の指名入札につ
 き不正行為あり
 釜檢校生舎新築工事の指名入札につ
 き不正行為あり
 釜檢校生舎新築工事の指名入札につ
 き不正行為あり

日原田は
 日原田は
 日原田は
 日原田は

十三日
 十三日
 十三日
 十三日

外部
 外部
 外部
 外部

四
 四
 四
 四

熱心誠實に事務を取扱ふ
辯護士 佐五位 堀池常作
事務所 大塚府前南國岡


字治製茶小直接販賣廣告
相傳の如何に不拘字號本持場品を以てして
正價を以て發切を旨とし店告と出品とを表裏し事
目方及街道を厭ひし速に貴客に應ずる事

御茶銘並に定價表(各一斤六十匁に付)
下等之茶 正價銀金六十錢上別備金二圓六十錢
千羽鶴金五圓 喜慶金五十錢別備金二圓六十錢

茶

[illegible]

大坂南久太郎町一上村商店
 電話三六九三番
 電話東京一〇〇五六番
 四
 手扶の茶送呈
 リグレ
 一會社
 製
 チウインガム
 (如何なる際にても御用に立ちます)
 リグレ一製チウインガムの理想的な
 食方へは一片を二時間
 噛むのでありその味は
 その防汚力に富み、口中
 に爽やかな香りが漂い、
 秋に對して人々に防汚の
 處に癒ります。すつかり
 つてから、すつかり、
 度本ホッ
 此の圖に示は

[illegible]

發賣 元 東京市銀座三三六番
電話新橋三三六番

卓子 椅子 平壤壽町

和洋家具商 長谷川善四郎

室內裝飾品

電話七四九番

曇佃少雨
▲七月十五日

○開張
七月十五日

七時半 五十三分

三十八分

浪桃川如燕口演
上義三郎速記

A black and white illustration depicting a scene from a story. On the left, a man with a shaved head and a small tuft of hair, wearing a plaid shirt, sits on the ground. He has a look of surprise or alarm, with his mouth open and hands raised. On the right, another man in a dark, patterned robe is crouching, looking down at the first man. A small, round object, possibly a hat or a piece of fruit, lies on the ground between them. The background shows a simple structure with a doorway.

最新良劑
ぐたりめど

富橋盛大藥局試驗部創製

腸 清

● 應加答兒 ● 痢 ● 病 ● 霍 ● 利 ● 下痢 ● 飲食物不消化 ● 冷 ● 其諸病より起る一切の下痢に
ひて大効あり

● 特長

● 清く、くだりを止た腹工合の
氣持のイ、事

● 價十錢 二十錢 五十錢 壹圓

● 本館 大坂堂島 高橋盛大堂藥局
發賣 全分書房 高橋盛大堂分店

二坪より
百坪まで

日本庭造真行草三體圖案新書

新刊
頗好評

平易圖解す施工自由自在也

○菊版美裝釘全一冊○説明紙數二百頁○鮮明なる插圖五十八
○正價金三圓〃内地會留送將金十八錢〃消費税金廿五錢

(附) 築庭法心得及仕持書と工費豫算書

◎茶室と茶庭圖解		全一冊	◎特價金三圓五十錢	內地送料 金十八錢 郵政掛符 金三十錢
◎茶室構造法圖解		全一冊	◎正價金二圓五十錢	內地送料 金十八錢 郵政掛符 金三十錢
◎西洋庭造法圖解		全一冊	◎正價金二圓	內地送料 金十八錢 郵政掛符 金三十錢
◎日本庭造法圖解		全一冊	◎正價金二圓	內地送料 金十八錢 郵政掛符 金三十錢
◎新日本庭造圖面百種及其說明		全一冊	◎特價金三圓五十錢	內地送料 金十八錢 郵政掛符 金三十錢

懸賞募集
賞金五百圓

海陸軍用 クラブ 齒磨

右の袋の表面及び裏面の圖案を募集す

日本軍人の忠勇義烈なる精神を
象徴し陸海軍用ウラブ齒磨の袋
として最適當なる圖案を希望す

規 定



壹等いちとう (二名)
貳等にとう (二名)
參等さんとう (五名)
金壹百圓也きんいつひゃくえんなり
金參百圓也きんさんびゃくえんなり
金壹百圓也きんいつひゃくえんなり

審査は當代知名の大家數名參加の上中山太陽堂圖案部に於いて公平に之を行

中山太陽堂

建築書院

酒は

[illegible]

車 噸 六 時 給 供

商 店

捌らず御注

金・燒入鍋
運
三巴酒造場
電話五〇六七番
振替口座六一八七番
田支店
電話二五番
田支店
電話五一番
賣所八
及滿洲樞要ノ地

元醫醫院
電話九四〇



